

ふるさと教育 取組事例

学校名	西ノ島町立西ノ島中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
3	総合的な学習	西ノ島の現状を学び、未来に向けて行動しよう	地元の事業所、観光協会、役場、西ノ島町民
	ねらい	西ノ島の地域課題解決のために西ノ島町の大人と協働しながら実践することにより、西ノ島の良さを再認識すると共に将来の生き方を幅広く考える。	
<p>1 取組の概要 中学校3年生が、総合的な学習の時間において西ノ島町の活性化についての3つのグループに分かれ、インタビュー活動や調べ学習により、地域の実態を把握し課題解決の方法を考えた。そして、課題解決するため各グループが地域の事業所や地域住民と協力しながら、西ノ島町の活性化につながるイベントを行った。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。 (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) ・探求学習を進めるために地域の事業所にインタビューやイベントの後に参加者にアンケートをとることにより、西ノ島町の良さや課題を再発見し、取組を振り返った。 ・地域住民を巻き込んだイベントを開催することで、イベント参加者や運営の手助けをしてくれた人や事業所の方からのアドバイスや励ましの言葉をもらうことができ西ノ島の活性化について自身の考えを深めることができた。</p> (学力育成の視点から) ・インタビューをしたり、グループで話し合いをしたりすることにより、思考力・判断力を高められるように取り組んだ。 ・聞き手(地域の方やお世話になった事業所の方、役場の方、保護者)を意識して、より分かりやすく伝えられるよう、目的意識をもって発表の準備を行った。(表現の育成) <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等) (ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) ・インタビュー活動などを通して地域と関わっていくなかで、西ノ島町の良いところや課題について考えを深めることができた。 ・イベントの開催を通して地域と関わっていくなかで、地域活性化の難しさやイベント成功の達成感を感じ、人々の支えのもと活動ができたことを実感していった。</p> (学力育成の視点から) ・地域活性化の実践を考えていくなかで、仮説を立てて情報を集め整理し、地域活性化のイベントを考え実践するという学習の過程を回すことができた。 <p>4 課題や今後の展望 ・3年間の総合的な学習の総まとめとして地域に出て自分たちが考えた課題解決の方法を実践する取組を継続して行っていきたい。生徒自身も、地域の人と協働することで地域の思いを知り、ふるさと西ノ島の良さを再認識することができると考えている。</p>			

*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)

